

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県 上尾市

自治体名 : 埼玉県上尾市
担当課名 : 上尾市教育委員会 学校教育部指導課
電話番号 : 048-775-9672



1.自治体の基本情報

基本情報

面積	45.51 km ²
人口	229,929 人 ※令和 7年 2月 1日現在
公立中学校数	12 校 ※東中学校向原分校を含む
公立中学校生徒数	5,363 人
部活動数	172 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

1 本市が抱える解決すべき課題

(1) 少子化及びニーズの多様化

▼上尾市立中学校の生徒数は、昭和61年をピークに減少に転じ、平成12年から平成26年までは横ばい、その後、緩やかに減少し、令和4年では5,614人となっている。

▼市内全体で10.8%の児童が、「進学する予定の中学校の部活動の中で、入りたい部活動がない」と回答している。

(出典：上尾市教育委員会「将来の学校部活動に関するアンケート調査 (令和5年2月)」)

(2) 生徒のスポーツ・文化芸術活動を支える

人材の確保と育成

▼「現在の学校教育における部活動について課題がある」と回答した86.2%の教員のうち、「専門的な指導ができない」ことを課題に挙げた教員が66.1%いる。

(出典：上尾市教育委員会「上尾市立中学校部活動の在り方についてのアンケート調査 (令和4年7月)」)

(3) 教員の働き方改革等

▼顧問をしている教員の約8割が部活動を負担に感じる、やや感じると回答し、その約8割以上が校務と部活動の両立が困難であることをその理由に挙げている。

(出典：上尾市教育委員会「上尾市立中学校部活動の在り方についてのアンケート調査 (令和4年7月)」)

2 本市の部活動地域移行に向けた取組

(1) 部活動地域移行推進協議会の設置

◎令和5年度より、外部の学識経験者や市内団体の代表者等を含む協議会を設置し、課題と方向性の整理等に取り組んでいる。

(2) 埼玉上尾メディックス等との連携によるモデル事業の積極的な実施

◎地元のプロスポーツチームや競技団体、総合型地域SCと連携したモデル事業を積極的に進めている。

(3) 「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」の策定・

「ロードマップ」の作成

◎これまでの検討結果を踏まえ、本事業に係る推進の方向性をまとめた基本方針を、令和6年度当初に策定する方向で進めている。

◎また、地域クラブ完全実施に向けたロードマップを作成した上で、着実に取組を進めている。

令和5年度 新たな地域クラブ活動 実証事業



埼玉上尾メディックスとの連携
(埼玉県新たな地域クラブ活動実証事業)



上尾市陸上競技協会との連携



総合型地域SC
サンワエナジークラブとの連携



上尾市教育委員会「AGEO地域クラブ開始に向けた推進イメージ」
(ロードマップ) 令和6年度版

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



★なお、本運営体制図は「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」に基づき構築したものである。
※右記は、基本方針掲載のAGEO地域クラブ基本構想図である。



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（事業主体）

※「部活動地域移行調整会議」を教育委員会内に設置・・・関係課が連携して、事業推進の方向性を検討している。
➢ 諮問機関「上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会」との連携を図っている。

●設置の趣旨 上尾市立中学校における「休日の部活動の地域移行」の段階的な実施に向け、上尾市教育委員会事務局関係課で検討を進め、市内外の人材、団体等を有効活用した効果的な地域移行を果たすための調整・役割分担を行うとともに、上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会に係る事務作業等を行う。

●関係課（4課）

・教育総務部スポーツ振興課（地域スポーツクラブ担当）・教育総務部生涯学習課（地域文化芸術団体担当）
・学校教育部学務課（教職員の兼職兼業等担当）・学校教育部指導課（学校部活動担当）※事務局

★実証事業の「運営事業者」として「AGEO地域クラブ代表者会議」を設置
➢ 代表者会議の運営団体を総合型地域SC「サンワエナジークラブ」に委託

◎首長部局

・予算措置について情報共有を実施

年間の事業スケジュール

時期	計画事項	備考
6月		
6月3日	第1回上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会開催	
6月26日	各地域クラブ活動実施主体団体募集及び交渉開始	
7月		
7月4日	各地域クラブ活動実施主体応募団体への個別説明・認定条件等確認開始	
7月17日	上尾市地域クラブクラブ活動ミーティング開催	※意見聴取機会の実施
8月		
8月2日	各地域クラブ活動実施主体団体決定・実施日程/会場等確認	
9月		
9月6日	第1クール参加者募集開始（～20日）	
9月13日	運営団体の決定（AGEO地域クラブ統括コーディネーター業務委託）	
9月17日	地域クラブ活動実施時の緊急対応体制決定 登録指導者及び参加生徒に係る保険の選定・決定（スポーツ安全保険の利用を決定）	
9月19日	クラブ運営プラットフォームの選定・決定（スグラムの利用を決定）	
9月20日	第1クール参加者決定・参加者に対する事前連絡（スグラムの登録依頼等）開始	
9月21日	追加参加希望者への対応開始	
9月24日	第1回代表者会議開催 第1回登録指導者研修会開催	
9月25日	学校施設・備品等借用依頼実施	
9月26日	スポーツ安全保険加入手続き完了（登録指導者・参加生徒） 各登録指導者との業務委託契約締結	
9月28日	各地域クラブ活動（第1クール）開始	
9月30日	第2回上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会開催	
10月		
毎週	各地域クラブ活動の実施	
10月3日	企業への協賛依頼開始	
11月		
毎週	各地域クラブ活動の実施	
12月		
12月2日	第2クール参加者募集開始（～20日）	
12月20日	第2クール参加者決定・参加者に対する事前連絡（スグラムの登録依頼等）開始	
12月22日	第1クール終了・効果検証アンケート①（参加者・保護者・指導者）実施	
12月25日	第2回代表者会議開催	
1月		
1月11日	各地域クラブ活動（第2クール）開始 ※2月16日まで毎週	
1月28日	第2回登録指導者研修会開催	
2月		
2月16日	第2クール終了・効果検証アンケート②（参加者・保護者・指導者）実施	
2月21日	事業まとめ・報告書等作成・次年度への申し送り事項等整理	

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	11 校	実施した地域クラブ総数	7クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		70 部活
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	59 人	全体の運営スタッフ数	3 人

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
AGEO 地域 クラブ	総合型 地域 スポーツ クラブ	ソフトテニス（新） 【実施主体団体】 サンワエナジークラブ	19 回	13:30~16:30	【9~12月】 85人 【1~2月】 94人	9~2 月	上尾市立 南中学校 テニスコート	10	AGEO地域クラブ 全体を統括運営する コーディネーター 3人 + 各実施主体団体 代表者1名ずつ （計7名） ↓ 連携して運営	1回につき 300円	※地域クラブと しての大会参 加は無し
		バレーボール（新） 【実施主体団体】 埼玉上尾メディックス	11 回	13:30~16:30	【9~12月】 36人 【1~2月】 26人		上尾市立 大石南 中学校 体育館	3			
		陸上競技 （新） 【実施主体団体】 上尾市陸協中学部	7回	13:00~16:00	【9~12月】 56人 【1~2月】 46人		上尾運動公園 陸上競技場	19			
		軟式野球 （新） 【実施主体団体】 市中体連野球専門部	10 回	9:00~12:00	【9~12月】 68人 【1~2月】 74人		上尾市立大谷 中学校 運動場	16			
		バスケットボール （新） 【実施主体団体】 TRUSTクラブ	12 回	14:00~17:00	【9~12月】 65人 【1~2月】 79人		上尾市立 東中学校 体育館	2			
		卓球（新） 【実施主体団体】 上尾市卓球連盟	15 回	9:00~12:00	【9~12月】 25人 【1~2月】 28人		上尾市立 大谷中学校 武道場	4			
		剣道（新） 【実施主体団体】 上尾市卓球連盟	19 回	13:30~16:30	【9~12月】 14人 【1~2月】 15人		上尾市立 大石中学校 武道場	5			

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 「AGEO地域クラブ・チャレンジ事業」として、①ゲートボール、②ニュースポーツ（ミニバレー・ヘルスバレー・ポッチャ・マットス）、③サッカー、④吹奏楽、⑤茶道、⑥合唱、⑦プログラミングに係る地域クラブ体験会を実施（受益者負担有り）

2.実証内容と成果

主な取組例

● A G E O地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス・バスケットボール バレーボール・卓球 陸上競技・剣道 軟式野球
運営団体名	特定非営利活動法人 サンワエナジークラブ (総合型地域スポーツクラブ)
期間と日数	令和6年9月から令和7年2月まで 各種目7回か19回の間で実施
指導者の主な属性	【ソフトテニス】総合型地域SC所属スタッフ 【バレーボール】プロスポーツチーム所属スタッフ 【陸上競技】市協会所属スタッフ (小・中学校教員を含む) 【バスケットボール】中学校教員 【軟式野球】中学校教員 【卓球】連盟所属スタッフ 【剣道】連盟所属スタッフ
活動場所	市内中学校の施設(運動場・体育館・武道場) 市内に所在する県立施設
主な移動手段	自転車・保護者による送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	1回につき300円 (全種目共通)
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり:800円/年 指導者1人あたり:1,850円/年

● 運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)

● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

事業主体・・・上尾市教育委員会

- ・実施要項作成・参加者募集・各種広報活動
- ・教員の兼業許可
- ・中学校長研究協議会及び市中学校体育連盟との連携・各種調整・統括コーディネーターとの連携
- ・各地域クラブ活動の巡回視察
- ・各種効果検証の実施・運営ノウハウの蓄積等

運営事業者・・・A G E O地域クラブ代表者会議

統括コーディネーター(3名)

- 【実施前】・指導者の登録・参加者の登録・スポーツ安全保険への加入
 - ・電子決済システム(スGRAM)の導入・運用
 - ・事前研修の実施・指導者及び参加者への事前連絡
 - ・緊急時対応体制の確認及び周知・欠席者対応等
- 【実施中】・欠席者・保護者対応・緊急時対応・各地域クラブとの連携等
- 【実施後】・活動実績の集約・次回活動計画の周知・効果検証への協力
 - ・指導者謝金の支払い・参加費の徴収等

実施主体・・・各種目の地域クラブの指導者

代表者:各1名・指導者:各3名~19名

- ・地域クラブ活動の運営・参加者への指導・緊急時の初期対応等



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

- イ：指導者の質の保障・量の確保
- ウ：関係団体・分野との連携強化
- エ：面的・広域的な取組

- オ：内容の充実
- カ：参加費用負担の支援等
- キ：学校施設の活用等
- ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 1 運営事業者「AGEO地域クラブ代表者会議」の設置
 - 総合型地域SC「サンワエナジークラブ」に統括コーディネーター業務を委託した。
 - 統括コーディネーターは、各種目の地域クラブの運営、報酬の支払い、保険の加入、参加費の受領、収支の管理等を実施した。
- 2 7種目の地域クラブ活動を実施
 - 各地域クラブとAGEO地域クラブ統括コーディネーターが密に連携しつつ、全種目の地域クラブ活動が同方式での運営を行った。
- 3 「部活動地域移行推進協議会」の開催・「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」の策定

取組の成果

- ◎ AGEO地域クラブ統括コーディネーター業務を、運営ノウハウに長けた総合型地域スポーツクラブに委託したことで、複数種目に係る地域クラブ活動の運営を適切に行うことができ、次年度の水平展開を図る基礎を確立することができた。
- ◎ スクール運営プラットフォーム（令和6年度はスグラムを使用）を活用した参加費の徴収等に係る実証を行い、地域クラブ活動運営への有効性を確認できた。
- ◎ 統括コーディネーターと連携する中で、各地域クラブ活動を同時に実施する体制について確立することができた。
- ◎ 半年間に渡る地域クラブ活動を2クールに分けて実施したことで、開始前から開始後までに係るオペレーションを確認することができた。
- ◎ ロードマップ等を作成したことで、今後の地域展開に向けた見通しをもつことができたとともに、周知啓発活動に積極的に生かすことができた。

「夢を育み、未来を創る。上尾の『部活動改革』～部活動地域移行推進事業～」

令和6年度
新たな地域クラブ活動「AGEO 地域クラブ」実証事業
参加者募集要項
上尾市教育委員会

休日[※]の学校部活動の地域クラブ活動への移行を推進するため、スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」に参加し、令和6年度は、以下の「7種目の地域クラブ活動」を開設します！
令和6年度から令和8年度にかけて、地域クラブ活動の種目を増やしていきます。

参加費：1回につき300円
※参加申込後、申し込んだ回数に合わせて、徴収します（参加費徴収の方法については、別途お知らせいたします）

ソフトテニス 南甲テニスコース 【実施団体】 サンワエナジークラブ	バレーボール 大石南甲体育館 【実施団体】 埼玉上尾メテックス	陸上競技 クロスレーニング 大石南甲体育館 【実施団体】 上尾市陸上競技協会中学校部	バスケットボール 大石南甲体育館 【実施団体】 TRUST(トラスト)
軟式野球 大谷中グラウンド 【実施団体】 上尾市中体連野球部	卓球 大谷中グラウンド 【実施団体】 上尾市卓球連盟	剣道 大石中グラウンド 【実施団体】 上尾市剣道連盟	

種目によって、活動場所・実施回数・実施日時が異なります。詳しくは、別添「各地域クラブ活動の実証計画」を御覧ください。

★「AGEO 地域クラブは、こんな人におすすめのクラブですよ！」

- 「もっと活動したい！」
➢ 学校部活動に所属しながら、加えて参加することが可能です。
- 「もっとうまくなりたい！」
➢ AGEO地域クラブでは、専門性の高い指導者が参加者のレベルに合わせた指導を行います。
- 「もっと違うスポーツをやってみたい！」
➢ 自分が在籍校で所属する部活動とは異なる種目のクラブを選択することも可能です。

上尾市教育委員会「令和6年度参加者募集要項」

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ◎ AGEO地域クラブ統括コーディネーターが、7種目の地域クラブ活動をサポートする体制を構築した。
 - 各指導者が、「指導に集中できる」環境づくりに成功した。

今後の課題と対応方針

- ▼ 種目数・拠点数の不足
 - 今年度確立した運営ノウハウを生かして、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」に掲げた「多種目」「多志向」「インクルーシブ」な環境づくりに資する種目数・拠点数に拡大した上で、AGEO地域クラブを実施する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

1 各種目の地域クラブ活動を統括する団体の募集

- 関係団体との連携を通して、AGEO地域クラブ実施主体団体の「認定条件」を設定するとともに、「実施主体団体公募要項」を作成した。

2 AGEO地域クラブ代表者会議による研修の実施

- 各実施主体団体の代表者を対象とした代表者会議を2回実施した。
- AGEO地域クラブ全登録指導者を対象とした指導者研修会を2回実施した。
- AGEO地域クラブ統括コーディネーターが、地域クラブ活動実施マニュアルを作成した。

指導者について

- ★AGEO地域クラブでは、個人に指導を委託するのではなく、地域のスポーツ団体等に実施主体団体となっていくことで、「質」を確保するとともに「持続可能な体制づくり」を行っている。
- 令和6年度は、7種目7団体の実施主体団体を選定した。

各種目の指導者属性

- 【ソフトテニス】サンワエナジークラブ
 - … 総合型地域SC所属スタッフ
- 【バレーボール】埼玉上尾メディックス
 - … プロスポーツチーム所属スタッフ
- 【陸上競技】上尾市陸上競技協会 中学部
 - … 市協会所属スタッフ（小・中学校教員を含む）
- 【バスケットボール】TRUSTクラブ
 - … 中学校教員
- 【軟式野球】上尾市中学校体育連盟 野球専門部
 - … 中学校教員
- 【卓球】上尾市卓球連盟 … 連盟所属スタッフ
- 【剣道】上尾市剣道連盟 … 連盟所属スタッフ

取組の成果

- ◎地域クラブの認定条件を整えたことで、次年度以降の実施主体団体公募を行う準備が整った。
- ◎代表者会議を実施したことで、各実施主体団体が、AGEO地域クラブにおけるオペレーションを理解し、統括コーディネーターと適切に連携しながら、安心安全を確保した地域クラブ活動の実施につながられた。
- ◎指導者研修会を実施したことで、子供たちへの指導におけるポイントを理解するとともに、指導者の役割を確認できた。また、研修会での学びを持続可能な学びとするためのマニュアルを作成したことで、必要に応じて復習しながら指導業務に従事する体制整備ができた。

(補足) 特定のコーチ資格の保持を指導者登録の条件として設定していない➤研修会への参加を義務付け

【 AGEO 地域クラブ実施主体への認定条件 】

条件①「生徒が安心して、安全に活動ができること」

… 「上尾市立中学校に係る部活動の方針」の遵守や、指導者研修の充実、施設の整備等により、学校部活動と同様に、参加生徒が、安心して、安全に活動できる環境を整備する。

条件②「専門性のある指導が行えること」

… 参加生徒に対し、当該種目の経験が豊富な専門性の高い指導者による指導を行う。また、生涯にわたってその活動に親しむことの素晴らしさを参加生徒に伝えていく。

条件③「持続可能な指導体制が構築できること」

… 活動の維持、運営に係る費用を抑え、低廉な会費設定に努めるとともに、AGEO地域クラブで指導を受けた生徒が、将来的に指導者等として支える立場になることができるなど、少子高齢化の社会においても持続可能な指導体制を実現する。

上尾市教育委員会
「AGEO地域クラブ」実施主体団体公募要項より
AGEO地域クラブ主体団体への認定条件

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

【第1回】

- (1) 部活動地域移行推進事業について
- (2) 上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針（令和6年5月策定）について
- (3) 令和6年度新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業について

- (2) 生徒の救命救急の方法について

講師 上尾市消防本部 東消防署 消防第一課 警防担当 様

- (3) クラブ運営管理アプリ「スグラム」について

- (4) その他

【第2回】

- (1) 地域クラブ活動の指導について

ア 講義 「スポーツの力がワクワクする未来を創る」

講師 埼玉県立久喜高等学校 教諭 早川 拓 様

イ 協議 「参加者のニーズに即した活動内容について」

- (2) その他



指導者研修の参加実績

・開催日：①令和6年9月24日（火）

②令和7年1月28日（火）

・開催回数：2回

・参加人数：①50人 ②46人

・その他：当日やむを得ず参加できなかった指導者には、当日の研修の様子を、オンデマンドで配信し、後日レポートの提出を求めた。



受講者の声

（第2回研修会より）

◎「スポーツ」「スポーツマンシップ」の語源を深く考える機会を頂きました。勝敗のあるスポーツでの対戦する側を「敵」と思いがちですが、指導するにあたり悔しい気持ちだけではなく、アドバイスをし合える仲間意識をもたせる様に、子ども達に伝えていきたいと思いました。

◎環境を整えることがいかに重要かを学ばせていただいた講義でした。スポーツを通して人を育てるには、指導者自身がなんのためにスポーツがあり、その意義が何かを理解していないといけないと感じました。また、集団でのミーティング以外にも個別の対話の実施など、自分も実施していることもあり、方向性の再確認にもなり有意義な時間を過ごさせていただきました。素晴らしいご講義をありがとうございました。

今後の課題と対応方針

▼参加生徒のニーズに即した指導ができるようにするため、指導者が「何を学びたいのか」を把握した上で、「登録指導者のニーズに即した研修会」を実施する必要がある。

➢登録指導者の意識実態を事前に調査し、より多くの指導者の必要感に迫ることができるようにする。

▼指導者が「自己研鑽」できる環境を整備する必要がある。

➢ICTをさらに活用し、研修教材を常に用意するなど、指導者が自己の都合に応じた学び方ができるようにする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

地域のポテンシャルを生かした 地域クラブ活動の実施

●プロスポーツチーム、スポーツ協会加盟団体、中学校体育連盟専門部、民間クラブ等、多様な団体を実施主体として地域クラブ活動を実施

●上尾市中学校体育連盟野球専門部を実施主体とした地域クラブ活動を実施し、教員の兼職兼業ケースでの実証を実施

●AGEO地域クラブ統括コーディネーターを通して、企業からの協賛を募り、2社からの協賛を獲得

取組の成果

◎多様な団体を実施主体団体として地域クラブ活動を実施したことで、団体の属性よりも「地域クラブ活動の認定条件」が重要であることを認識できた。また、多様な団体が実施主体団体となり、実証事業を進めたことで、次年度以降のAGEO地域クラブへの参画を検討する団体が増えた。

◎教員の兼職兼業による地域クラブ活動への従事体制の構築に向けたフローを作成することができた。

◎企業協賛を募るには、対価を明らかにし、企業にとって協賛するメリットを表出させたうえで営業を行うことが重要であることを認識できた。

令和6年度 スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加

令和6年度 新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

企業協賛

➢ AGEO地域クラブ統括コーディネーターが依頼し、複数の企業様からAGEO地域クラブ運営に係る御協賛をいただいた。



≪ 御協賛いただいた企業様 ≫



株式会社エーエージェント 様

(所在地) 埼玉県北本市中丸9-153
(事業内容) 中古車販売、自動車修理・整備

➢ AGEO地域クラブの運営費として
100,000円の費用協賛をいただきました。

ナガセケンコー株式会社 様

(所在地) 東京都墨田区墨田1-6-7
(事業内容) 各種球技ボール等の製造・販売

➢ AGEO地域クラブの活動消耗品として
70,000円の物品協賛をいただきました。

(注釈)両企業ともに、AGEO地域クラブ統括コーディネーター業務を「サンワエナジークラブ」が受託していることを条件に、AGEO地域クラブへの御協賛をいただいている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組事項

受益者負担の導入 企業協賛費の活用 スグラムの導入

- 今年度は「参加費」としての受益者負担導入を行った。
- 企業協賛費を、A G E O地域クラブ統括コーディネーターを通じて募集した。
- スグラムを導入し、キャッシュレスでの集金を行った。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

- ① A G E O地域クラブ統括コーディネーター業務の委託
 - 運営団体を入札により決定
 - ・今年度のA G E O地域クラブ全体を統括する団体の決定（業務委託契約を締結）
 - ★当該年度の安定的な運営体制を構築するためのイニシャルコストとして費用を捻出
- ②スポーツ安全保険加入費用（生徒1人あたり800円・指導者1人あたり1,850円）

■ランニングコストの分析

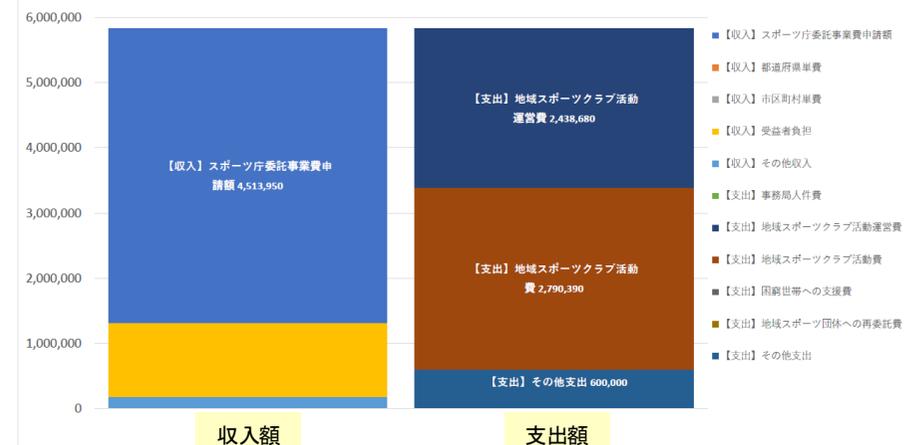
- ①スグラム利用料（月100円）
- ②指導者謝金（1回につき4,500円+費用弁償1,000円）
- ③指導者謝金振込手数料
- ④活動実施に必要不可欠な消耗品等の購入費用
- ⑤活動場所の使用料（一部種目のみ）※ 等
- ⑥研修開催諸費用（定期開催）

※会場については、学校施設を優先的に使用出来るよう、制度（規定）を導入するための研究を行った。

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

収入			支出		
内容	金額（円）	割合（％）	内容	金額（円）	割合（％）
スポーツ庁委託事業費申請額	4,513,950	77.4	事務局人件費	0	0.0
都道府県単費	0	0.0	地域スポーツクラブ活動運営費	2,438,680	41.8
市区町村単費	0	0.0	地域スポーツクラブ活動費	2,790,390	47.9
受益者負担	1,134,600	19.5	困難世帯への支援費	0	0.0
その他収入	180,920	3.1	市区町村から地域スポーツ団体への再委託費	0	0.0
合計	5,829,070	100.0	その他支出	600,000	10.3
			合計	5,829,070	100.0

収支バランス



受益者負担の導入「適切な会費額に関する検討」

- 参加費については、1回当たり「300円」とし、申込み回数に応じた額を、各クール終了後に支払うことを保護者に求めた。

<収入内訳>

- ①スポーツ庁委託事業費 ②受益者負担 ③その他収入（企業協賛）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」の策定

◎上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針

➢上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会を中心に作成した基本方針（案）について、上尾市教育委員会令和6年5月定例会において、審議・決議を行い、上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針を策定した。今後は、本基本方針に基づく体制整備、取組を推進することとなる。

◎上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針 概要版リーフレット

➢教職員や保護者、地域のスポーツ・文化芸術団体関係者様に対し、本基本方針の要点を共有するため、概要版リーフレットを併せて作成した。

令和6年度 「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」の策定

1 目標及び地域クラブの定義

目 標
 すべての生徒が、地域において、
 自己のニーズに応じたスポーツ・文化芸術活動に
 親しむことができるようにすること

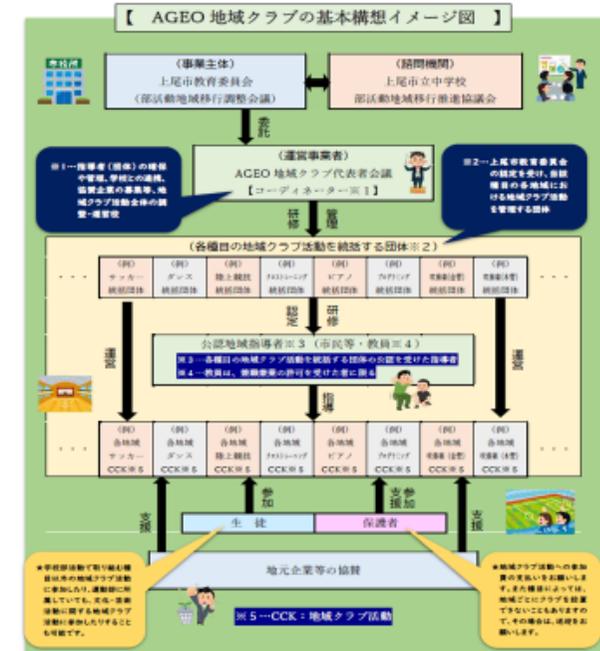
本目標を実現のために・・・

上尾市は、上尾市立中学校における休日の学校部活動の実施主体を
 地域とするための組織である「AGEO 地域クラブ」を創設する。

AGEO 地域クラブの定義
 上尾市内を主たる活動場所として、
 「上尾市立中学校に係る部活動の方針」に基づく活動を行っていること等が
 上尾市教育委員会によって公認されたクラブチーム

休日の学校部活動に代わる新たな地域クラブ活動
AGEO地域クラブの実像を明確化

令和6年度以降は、体制づくりを推進



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

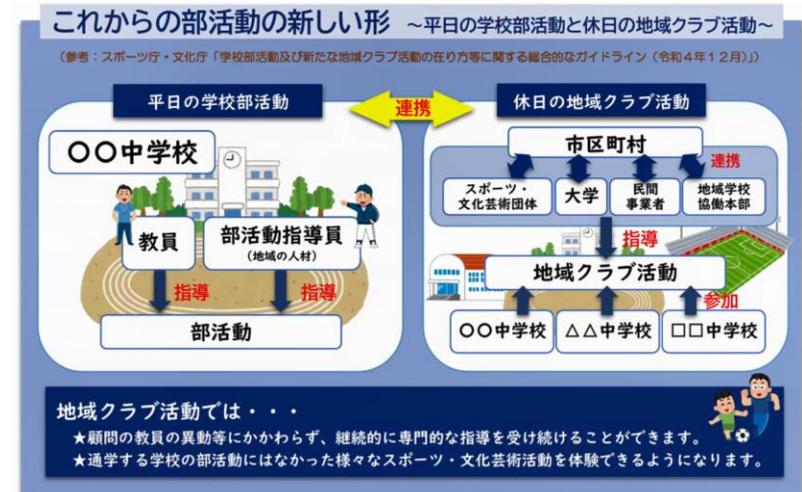
●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

上尾市における部活動地域移行推進事業に関する保護者説明用動画配信

- ①趣 旨 各中学校における新入生保護者説明会において、学校部活動の未来について説明するとともに、AGEO地域クラブの設置趣旨を説明することで、新入生保護者の部活動の地域移行推進事業に関する理解を促進する。
- ②配信機会 市内各中学校における新入生保護者説明会（令和7年1月から2月にかけて）
- ③内 容 ★以下のURLまたは二次元コード（YouTube限定公開用）で御視聴ください。

URL : <https://youtu.be/Kuz-WeiSzxg>



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

「上尾市地域クラブ活動ミーティング」開催

- ①趣 旨 上尾市における部活動の地域移行に向けて、子供たちが将来にわたって豊かなスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会と場を確保するため、御参集の皆様から御意見を伺い、「地域の実態に応じた地域クラブ活動」について話し合うため、地域ミーティングを開催する。
- ②主 催 上尾市教育委員会
- ③実 績 令和6年度は計3回を実施

主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ① 参加費、運営費等の問題を解決しなければならない。 ② 既存のクラブに元々所属している生徒と、新しく地域クラブに参加してくる生徒のレベルの差が出てくると、一緒に活動することが難しい。個々のレベルに合ったクラブを用意してほしい。 ③ 新たな地域コミュニティの創出にもつながるよう、既存の学校部活動の種目にこだわらない地域クラブを設置してほしい。
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ① 「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」について、参会者の皆様に丁寧な説明を行い、上尾市の目指す方向性について参会者に共有したことで、前回より具体的な意見交換の実現につながった。 ② 上尾市の具体的な構想を説明したことで、参会者の皆様には、「自団体等がどのように A G E O 地域クラブに関与できるのか」について、主体的に考えていただけた。 ③ 意見交換では、多くの具体的な課題を提起いただけた。



総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

◎参加者募集の結果、7種目計478名の市内中学校在籍生徒（1・2年生のみ）の参加があった。当初の想定を大きく上回る結果となり、地域クラブ活動への生徒のニーズがあることを実感した。

◎今後は「種目数」「拠点数」の拡大が求められるが、基本構想を整備し、計画的な体制づくりが進んだため、来年度以降の水平展開に見通しをもつことができた。

◎基本方針に掲げる「多種目」「多志向」「インクルーシブ」な環境整備に向け、「地域の子供は地域で育てる意識」の浸透に力を注ぎ、着実な体制整備につなげたい。

令和6年度 スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加 令和6年度 新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

(1) 第1クール 令和6年9月28日(土)から令和6年12月22日(日)まで
(2) 第2クール 令和7年1月11日(土)から令和7年2月21日(金)まで

	種目名	実施主体団体	第1クール参加者数	第2クール参加者数
1	ソフトテニス	サンワエナジークラブ	85	94
2	陸上競技	上尾市陸上競技協会中学部	56	46
3	バレーボール	埼玉上尾メディックス	36	26
4	バスケットボール	TRUST(トラスト)	65	79
5	軟式野球	上尾市中学校体育連盟野球専門部	68	74
6	卓球	上尾市卓球連盟	25	28
7	剣道	上尾市剣道連盟	14	15
	7種目参加者合計		349	362

●成果の評価

◎「AGEO地域クラブ」体制整備の促進

…統括コーディネーターとの密な連携により、地域クラブ全体の管理運営方式が確立され、次年度以降の水平展開につながった。

◎基本方針の策定 ➤ 積極的な推進と啓発活動の実施へ

…ベクトルをそろえ、皆が連携して協働する体制が整った。

今後に向けて
令和6年度「AGEO地域クラブ・チャレンジ」事業 実施実績

★次年度以降の事業拡大(種目数及び拠点数の増加)、AGEO地域クラブの新たな実施形態(対外試合の実施等)の導入等を見据え、スポーツ庁委託事業とは別に、多様な実施形態でテストケースを行う。
★多様性(多種目)やクラブ活動の浸透促進に資することができるよう、ニュースポーツやパラスポーツに関する地域クラブ活動の実施に向けた検証を実施する。

…現在までに、「サッカー」「ゲートボール」「ニュースポーツ(ヘルス/レレ/ミニ/バレー)」「吹奏楽」「合唱」「プログラミング」「茶道」「ボウリング」を企画(予定を含む)

ゲートボール (上尾市ゲートボール協会) | ニュースポーツ(ヘルス/レレ/ミニ/バレー) (上尾市スポーツ推進委員連絡協議会) | サッカー(他クラブとの交流試合も) (上尾市中学生サッカー専門部)

今後に向けて
課題を解決し、令和8年8月のAGEO地域クラブ完全実施へ！

主な課題

- ▲実施主体団体(指導者)及び会場の確保
- ▲「部活動地域移行推進事業」に対する教職員・保護者・地域(関係団体)の理解促進
- ▲**困窮家庭への具体的支援策の整備**
- ▲**地域クラブによる大会参加の在り方に関する検討**
(中体連と連携して)

上尾市教育委員会では、令和7年度より、「平日」の学校部活動の将来についても具体的に検討します！

段階的「**着実なAGEO地域クラブ**」への移行を推進

●今後に向けて

◎新たな価値を生み出すクラブへ

…次年度を見据え、様々な種目で体験会を実施してきた。児童生徒のニーズに応えられる地域クラブを目指していきたい。

◎地域クラブによる大会参加

…あり方を検討する必要がある。

今後に向けて
課題を解決し、令和8年8月のAGEO地域クラブ完全実施へ！

令和6年度 → 令和7年度 → 令和8年度

休日の学校部活動

令和7年度までは「移行期間」
…学校部活動とAGEO地域クラブが共存
★令和7年度は、休日の学校部活動を「原則、土曜日のみに制限」

令和6年度「AGEO地域クラブ」設立
…令和7年度 種目数・拠点数拡大(日曜日実施)
「**令和8年8月**完全実施」

新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」

「AGEO地域クラブ」へのシームレスな移行を推進

2.実証内容と成果②

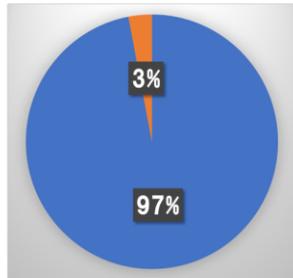
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

令和6年度 スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加
令和6年度 新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

【参加生徒】効果検証アンケートの結果より

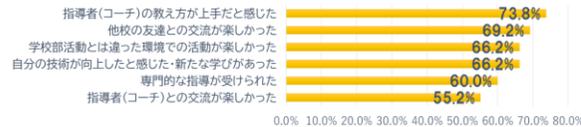
①AGEO地域クラブでの活動に参加して良かったですか。



■参加してよかった…97%

■参加しなければよかった…3%

②参加してよかったと思う理由として、当てはまるものをすべて選択してください。



③参加しなければよかったと思う理由を教えてください。(自由記述)

▼実力向上につながらなかった。 ▼友達と遊ぶ時間が減った。(部活動もあるので) 等



令和6年度 スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加
令和6年度 新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

【参加生徒】効果検証アンケートの結果より

④「AGEO地域クラブ」には、どんな良さがあると感じましたか。

(自由記述より…一部抜粋)

- ◎他校の生徒との交流が深められる！他校の生徒と関わることでお互いを高めあったり、教え合ったりできる！
 - ◎コーチに聞きたいことを質問すると、丁寧に答えてくれる！質問をすると、答え+アルファで教えてくれる！
 - ◎部活動ではやらない事ができ、すごく勉強になる！
 - ◎専門家に指導を受けられるので、技能向上を実感できて良いと思う！
 - ◎レベルに合わせたコーチングをしてくれる！
 - ◎部活では学べないことが、AGEO地域クラブのコーチの指導で学べた！
 - ◎上手になれる、初心者でもわかりやすい！
 - ◎普通のクラブチームとかと違って、ガチガチじゃなく、参加しやすい！
 - ◎やる気がある人だけが集まっているから、雰囲気が良い！
 - ◎質問する機会が多くあるから嬉しい！
 - ◎良い指導者、いろんな人との交流があってとても楽しい！
 - ◎コーチも自己紹介をしっかりとしてる！コーチの見た目や話し調が親しみやすかったところ！
- 等



令和6年度 スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加
令和6年度 新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

【参加生徒】効果検証アンケートの結果より

⑤AGEO地域クラブでの活動に参加する際、「困ったこと」「大変だったこと」などはありましたか。

(自由記述より)

▼拠点校が遠い…。家から練習場所が遠く、通うのが大変だった。

▼とにかく遠くて、通うのが大変だった。

▼遠い！

▼場所が遠くて、行くのに時間がかかる！親に迷惑をかけている…。

▼部活動の日と重なってしまって、思ったほど参加できなかった…。

▼午前中に学校の部活があった後の地域クラブは、かなりハードでキツかった。

▼練習会なので、毎回ペアが違ったりするのはある意味大変だった…。

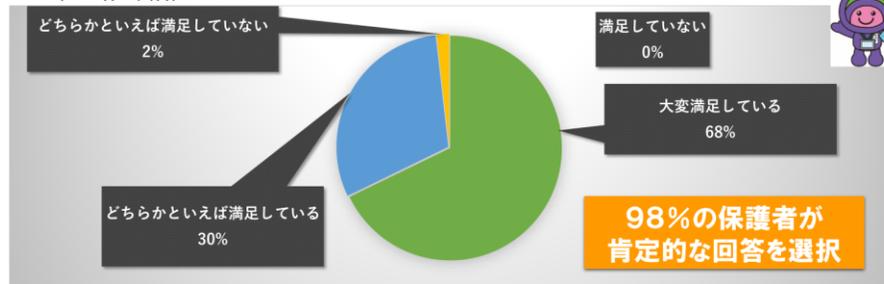
等



令和6年度 スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加
令和6年度 新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

【参加生徒の保護者】効果検証アンケートの結果より

①「AGEO地域クラブ」実証事業に対する満足度はいかがでしょうか。(168件の回答)



アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

令和6年度 スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加
令和6年度 新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

【参加生徒の保護者】効果検証アンケートの結果より

②今後、AGEO地域クラブの発展を目指す上で、特に力を入れて検討してほしいこととして、当てはまるものをお選びください。(複数回答可) (168件の回答)



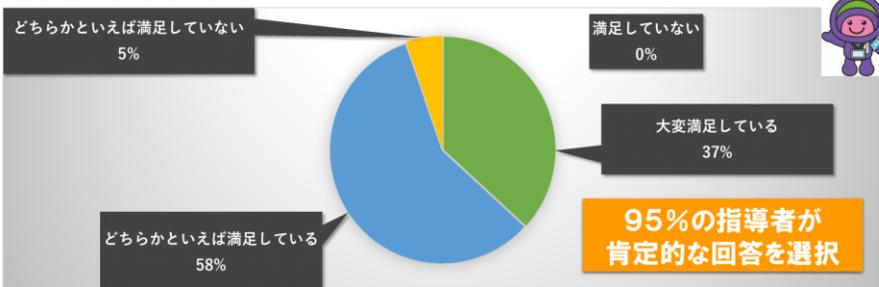
(その他を選択された方の意見)
 ◎もっと活動回数を増やしてほしい ◎勝利にこだわるクラブもあれば、そうではないクラブを種目ごとに設置しても良いと思う 等



令和6年度 スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加
令和6年度 新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

【登録指導者〔計59名〕】効果検証アンケートの結果より

①これまでの「AGEO地域クラブ」実証事業に対する満足度はいかがでしょうか。



令和6年度 スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加
令和6年度 新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

【参加生徒の保護者】効果検証アンケートの結果より

③1回につき「300円」という参加費額を設定しましたが、事業を終えて、この金額について、どのような感想をおもちでしょうか。(168件の回答)



④「月額としてふさわしいと思う参加費の額」として、御自分の考えに最も近いものをご教示ください。(168件の回答)



令和6年度 スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加
令和6年度 新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

【登録指導者〔計59名〕】効果検証アンケートの結果より

②前問で選択した理由を、教えてください。

(自由記述より・・・一部抜粋)

- ◎意欲的に活動する生徒が多く、単独校ではできないような練習メニューにも取り組むことができるから。
- ◎指導力の高い指導者から、私自身も学びながらできています。
- ◎やる気と目的意識のある子供たちが多かったから。
- ◎統括コーディネーターの沼田さんとコミュニケーションを取りながらいい環境を作っていただけだ
- ◎学校の部活動という枠をなくした地域クラブという概念は以前から興味があり、学校教育と切り離れた自立性を前提とする活動に参画する事ができ、指導者としてもスキルアップができる貴重な機会になっているから。
- ▼参加者が少ない。テスト前などの活動は、なかなか人が集まらないのでそこは変えるべきだったのかと思いました。
- ▼今回参加された生徒は、部活以外でもっとレベルアップしたい練習をいっぱいしたい生徒ばかりでした。その中に、部活動の指導が月1回で、後は自分達で練習している中学校からの参加の生徒もいました。差があり過ぎて指導者が足りず、全体として物足りなかったと思います。指導する側ももっと時間をかけて指導したかったです。



2.実証内容と成果③

広報資料

「夢を育み 未来を創る 上尾の『部活動改革』保護者用リーフレット」の配布

★市内小・中学校に在籍する児童生徒の保護者が、本市における部活動地域移行推進事業に関する理解を深められるよう、内容を特集したリーフレットを配布し、部活動地域移行推進事業に係る市の取組等を紹介した。

※上尾市教育委員会ホームページにも掲載している。

新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」プロモーションムービーの配信

★現在、実施している新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」の実際を、分かりやすくまとめたプロモーションムービーを作成し、上尾市教育委員会ホームページより配信を行っている。

URL : https://www.youtube.com/watch?v=o80g_TzUxGA

参考資料

夢を育み 未来を創る 上尾の『部活動改革』リーフレット no.6 【保護者用】 令和7年1月発行

上尾市の子供たちに魅力あるスポーツ・文化芸術活動機会を確保するために…

持続可能な部活動の実現に向けて

～上尾市における部活動改革（休日の「学校部活動」の「地域クラブ活動」への移行推進事業）～

上尾市では、令和6年5月に「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」を策定し、少子化の中でも将来にわたり、子供たちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保できるよう、多様な実証事業に取り組みんでいます。

スポーツについては、スポーツが「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」に参加し、運営事業者を市内所在の総合型地域スポーツクラブ（サンワエナジークラブ）に委託した上で、令和6年度は、既存の学校部活動種目に係る7種目の地域クラブ活動を開設し、今後の事業拡大につなげられるよう効果の検証を行っています。

新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

AGEO地域クラブ代表者会議（運営事業者）の管理の下、7種目の地域クラブ活動を実施

AGEO地域クラブは、生徒が「もてやまい」「もどろまぐらひまい」「違うことやってみたい」を実現！

実証事業実施の留意点

①休日の学校部活動の地域クラブ活動移行に向けた課題の抽出を行うとともに、段階的な休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行を推進する。

②運営事業者【AGEO地域クラブ代表者会議】の管理の下、複数種目の地域クラブ活動を開設し、原則同条件下で運営を行い、運営事業者としての管理・運営に係るノウハウを構築し、次年度以降の拡大につなげる拠地を培う。

★令和6年度月定「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」に基づき、AGEO地域クラブの体制づくりを進めています。

★AGEO地域クラブ代表者会議（運営事業者）の管理の下、7種目の地域クラブ活動を実施

特定非営利活動法人 **SANWA X ENERGY**

指定非営利活動法人 **サンワエナジークラブ**

【開設中の地域クラブ】

- ソフトテニス（上尾市立東中学校）
- バレーボール（上尾市立東中学校）
- 陸上競技（上尾市立東中学校）
- 軟式野球（上尾市立東中学校）
- バスケットボール（TRUSTI+上尾市立東中学校）
- 卓球（上尾市立東中学校）
- 剣道（上尾市立東中学校）

各実施主体団体の指導者が、専門的で充実した指導を行っています！

【AGEO地域クラブ】プロモーションムービー

「令和7年度は、種目数及び拠点数を増やし、さらに多様な地域クラブ活動を行います！」

上尾市教育委員会では、「部活動地域移行推進事業」について、積極的に情報発信を行っています

是非、こちらの二次元コードを眺み取っていただき、「部活動改革」に関する御意見をお寄せください。

【問い合わせ先】上尾市教育委員会 学校教育推進課
〒362-8501 埼玉県上尾市本町3-1-1 Tel.48-775-9672

保護者用リーフレット（第6号）



新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」プロモーションムービー【一部抜粋】

参考資料（活動写真）

令和6年度 スポーツ庁「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」への参加

令和6年度 新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業

バレーボール

【埼玉上尾メディックス:大石南中】



ソフトテニス

【サンワエナジークラブ:南中】



軟式野球

【上尾市中体連野球専門部:大谷中】



剣道

【上尾市剣道連盟:大石中】



卓球

【上尾市卓球連盟:大谷中】



陸上競技

【上尾市陸上競技協会:上尾垂松公園】



バスケットボール

【TRUST:東中】



(実施主体)

上尾市教育委員会



(運営事業者)

AGEO地域クラブ

代表者会議

統括コーディネーター

SANWA X ENERGY



各地域クラブ活動

7種目7拠点



市内中学校に在籍する
1・2年生の参加希望生徒

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



学校教育部指導課（部活動地域移行推進事業） **休日の部活動の地域移行の推進** 令和7年度版



～ **休日**の学校部活動を、段階的に地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」に移行する ～

AGEO地域クラブ開始に向けた推進イメージ【令和4年度～令和8年度】

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
<ul style="list-style-type: none"> ○調整会議設置（教育委員会内） ◆各種調査の実施 ◆調査研究・情報収集（先進地視察等） ★埼玉上尾メディックスとの連携実証事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○協議会設置 ☆ABC派遣開始(11名) ★埼玉上尾メディックス・上尾市陸上競技協会・サンワ×エナジーとの連携実証事業実施 ●地域ミーティング開催(1回) ●各種リーフレットの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」策定(5月) ○協議会実施(3回) ☆ABC派遣(22名)・ABS配置(57名) ★スポーツ庁及び文化庁委託事業参加 ★「イングリッシュサロン」設立 ●地域クラブシンポジウム定期開催(3回) ●各種リーフレット等の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ◎AGEO地域クラブ実証事業実施 →種目数・拠点数の大幅拡大 ★スポーツ庁及び文化庁委託事業参加 ◎「イングリッシュサロン」継続実施 ○協議会実施(3回) ☆ABC(22名)・ABS(57名)事業継続 ●地域クラブシンポジウム定期開催(3回) ●各競技団体等との連携強化 ●新入生保護者等への説明強化 ●AGEO地域クラブ開始に係る周知 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>AGEO地域クラブ</p> <p>「組織の完全構築」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ニーズ把握・反映 ◎指導員の増員 ◎活動拠点の増加 ◎オペレーション確立 ◎困窮家庭へ支援策の整備等 </div>	<div style="text-align: center;"> <p>AGEO地域クラブ完全実施</p> <p>(令和8年8月予定)</p> <p><small>▶ AGEO地域クラブによる中体連主催大会への参加が可能になり次第</small></p> </div>
<p>【1種目】</p> <p>(バレーボール)</p> <p>実証</p>	<p>【3種目】</p> <p>(バレー・陸上・ソフトテニス)</p> <p>実証</p>	<p>AGEO地域クラブ代表者会議(新設)</p> <p>統括コーディネーター配置(2名)業務委託</p> <p>【7種目・7拠点】 実証</p>	<p>AGEO地域クラブ代表者会議(継続設置)</p> <p>統括コーディネーター配置(4名)業務委託</p> <p>【19種目・28拠点】 実証</p>	<p>運営体制確立</p> <p>【22種目・64拠点】</p> <p>完全実施</p>
<p>休日の学校部活動</p> <p>有</p>	<p>休日の学校部活動</p> <p>有</p>	<p>休日の学校部活動</p> <p>有</p>	<p>休日の学校部活動</p> <p>有(原則「土曜日」のみ)</p>	<p>休日の学校部活動</p> <p>廃止(予定)</p>

▼ 現時点の主な課題 ▼

「実施主体団体(指導者)・会場の確保」「関係者の理解促進」「イングリッシュサロンに対する市民の理解・周知」「困窮家庭への支援策の整備」「地域クラブによる大会参加の在り方に関する検討(中体連と連携して)」等

「AGEO地域クラブ」実証事業

- 19種目28拠点での実施(スポーツ14種目・文化芸術5種目)
- スポーツ庁及び文化庁委託事業に参加予定
- ・実施主体の確保・持続可能な運営費の確保(協賛収入の獲得を含む)
- ・困窮家庭支援体制の確立(行政的支援の検討・奨学金制度等の構築)
- ・各種調査によるニーズの把握と反映

実施主体団体公募システムの構築
ABC・ABSのさらなる活用

シンポジウム開催
新入生保護者会等での説明
各種リーフレットの配布等

「イングリッシュサロン」事業

- 「未来」を見据えた適正規模での実施(方針に基づく4拠点での実施)
- 政策企画提案制度による予算計上予定(令和6年度からの継続【3年間】)
- ・AGEO地域クラブ合流を見据えた「有償実施」・専用システム導入
- ・体験的で、成果を実感できる、魅力ある地域クラブ活動の実施
- ・積極的な広報・プレスリリースの実施等

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県 蕨市

自治体名：埼玉県蕨市

担当課名：教育部学校教育課

電話番号：048-433-7728

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	5.11 km ²
人口	76,220 人
公立中学校数	3 校
公立中学校生徒数	1,425 人
部活動数	35 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

蕨市は市域面積が5.11平方キロメートルと全国一のミニ市であり、人口密度が全国で最も高い市として知られている。市内には中学校が3校あり、全生徒数1,425人で運動部35部、文化部12部が活動している。各校では教職員数に対して部活動数が多く、顧問教員を複数配置できないという課題があり、加入者数を見ながら部活動の統合や募集停止を検討している。

令和5年度の実証事業では2校3部活を対象に、休日の活動を「地域クラブ活動」として実施した。参加生徒、保護者のアンケート調査結果では、活動に「満足」「どちらかといえば満足」し

ているという回答が9割を超えている。また、活動の良かった点として「専門的な指導が受けられた」という回答が最も多く、充実した活動となっている。

令和6年度は5年度の活動から切れ目なく活動を行うとともに、市内3校から生徒が参加することができるように対象者を拡大した。また、小学校4年生～6年生の児童を対象に「部活動等に関する意識調査」を実施し、その結果や学校、地域の実情を踏まえ、今後新たに創設する種目や地域クラブ活動の在り方等について検討することとしている。

令和5年度の成果

地域クラブ活動に「満足」「どちらかといえば満足」



蕨市実証事業報告資料より

令和5年度の成果

良かった点 (生徒)

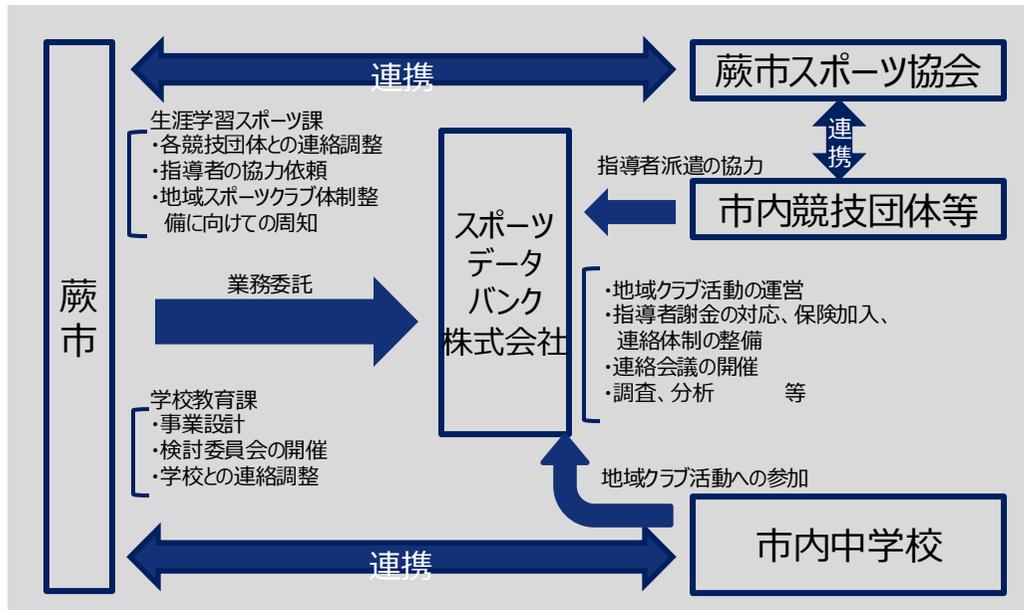


蕨市実証事業報告資料より

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課…運営団体との連絡調整、学校との連携・調整、検討委員会事務局
- ・生涯学習スポーツ課…関係団体との連携、人材発掘、地域活動の環境整備

◎首長部局

- ・財政課…予算措置

年間の事業スケジュール

令和6年4月	地域クラブ活動説明会の開催 地域クラブ活動の実施
令和6年5月	第1回検討委員会の開催
令和6年7月	参加対象者の拡大 地域クラブ活動説明会の開催 第2回検討委員会の開催
令和6年9月	小学生対象意識調査の実施 (対象：4年生～6年生)
令和6年10月	第3回検討委員会の開催
令和7年1月	参加生徒、保護者、指導者へのアンケート調査実施
令和7年2月	陸上クラブと高校との連携 第4回検討委員会の開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（3部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	4人	全体の運営スタッフ数	4人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
蕨市地域クラブ	民間事業者	陸上	月3～4回	主に 8:00-12:00	1年22人 2年6人 3年23人	4月～2月	第一中、 スポーツセンター等	2人	2人 (内、兼務2人)	保険料 800円	大会参加なし
蕨市地域クラブ	民間事業者	剣道	月3～4回	主に 8:00-12:00 14:00-18:00	1年7人 2年6人 3年9人	4月～2月	第一中等	1人	2人 (内、兼務2人)	保険料 800円	大会参加なし
蕨市地域クラブ	民間事業者	柔道	月3～4回	主に 8:00-12:00	2年4人 3年10人	4月～2月	第二中等	1人 (活動日 により複数 数名で指 導)	2人 (内、兼務2人)	保険料 800円	大会参加なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●ラグビースクールと連携した「ラグビー体験イベント」の企画

●陸上クラブと高校生の合同練習

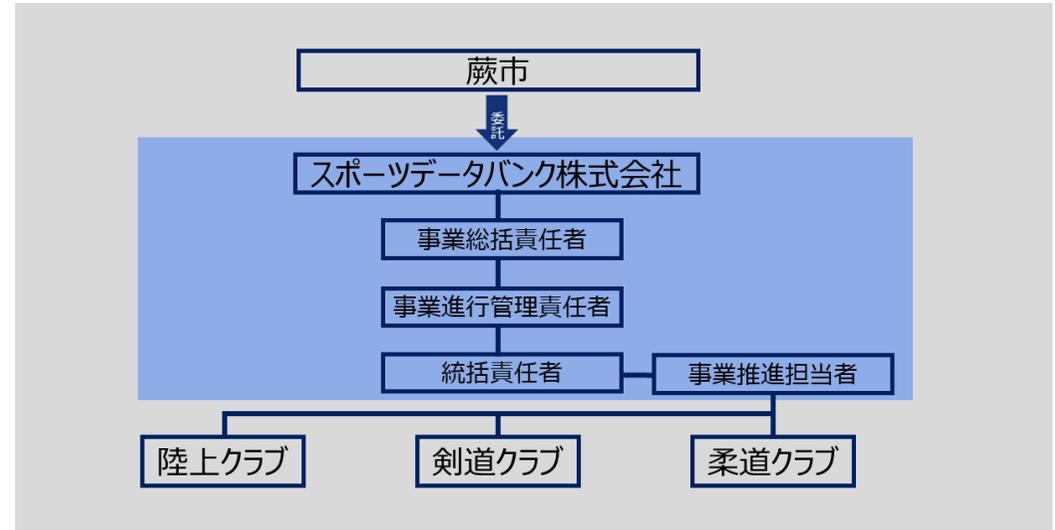
2.実証内容と成果

主な取組例

● 蕨市地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上、剣道、柔道
運営団体名	スポーツデータバンク株式会社
期間と日数	陸上：4月6日～2月15日 月3～4回程度 剣道：4月6日～2月15日 月3～4回程度 柔道：4月6日～2月15日 月3～4回程度
指導者の主な属性	蕨市剣道連盟、蕨市柔道連盟 株式会社Relume、中学校教諭
活動場所	第一中学校、第二中学校 他
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等（年額）	陸上：800円 剣道：800円 柔道：800円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 事業総括責任者
役割：窓口業務、事業推進における進捗管理を行う
- 事業進行管理責任者
役割：窓口業務、事業スキーム作成における各種調査・分析を行う
- 統括責任者
役割：各種調整、事務サポートを行う
- 事業推進担当者
役割：学校との調整、生徒・保護者への説明、連絡等を行う

2.実証内容と成果①

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保に関する取組
- ・持続可能な運営ができる組織体制を目指し、行政担当課が市内団体や人材との連携を図り、今後の運営団体・実施主体について検討する。
- 地域スポーツクラブ活動の要件等の明確化を図る取組
- 地域スポーツクラブ活動の運営の効率化等に関する取組

取組の成果

- ・アプリを使用した出欠確認や活動の連絡については問題なく行うことができ、保護者アンケート調査においても、「スケジュールの確認が行いやすい」「指導者へ連絡しやすい」等の意見が多かった。一部保護者においては操作方法がわかりにくいという意見がある。
- ・今後の運営団体や実施主体について、個別に相談を行っていたが具体的な候補の選定には至らなかった。
- ・地域クラブの要件に係る項目を整理した。来年度以降、地域クラブ実施主体の公募を検討しているため、関係部署及び実施主体候補等とのヒアリング等を行いながら、本市の実情にあわせて要件を明確化していく。



Band

主な機能

- ✓ 掲示板機能
- ✓ カレンダー表示
- ✓ トーク連絡
- ✓ アルバムシェア

プライバシー保護も安心
世界基準取得

AICPA SOC
UKAS
DNV-GL

生徒・保護者への案内依頼（説明会等の参加）

学校（教員）

問い合わせ（@band0101）

登録

情報配信

オペレーター・担当

当座登録生徒・保護者

SPORTS DATA BANK
Sports Data Bank Group

出欠確認

参加状況確認

アプリ内カレンダー

実施レポート報告（アプリ内）

当日担当指導者

保護者説明会資料より

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・他自治体の地域クラブ活動の要件について資料提供。
- ・市内活動団体代表者との打合せ。地域クラブ運営や実施に係る具体的な情報提供。
- ・アプリを通じての活動案内、保護者連絡等。

今後の課題と対応方針

来年度は実施主体や指導者を公募し、事業を広く周知する。そのためには、リーフレットを作成して市ホームページ等にも掲載するとともに、地域団体の会議等の場で事業の具体的な説明を行っていく。

地域クラブ活動の要件については引き続き検討委員会で協議し、明確化を図る。

2.実証内容と成果①

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 人材の発掘・マッチング・配置に関する取組
 - ・市内の各競技連盟に対して事業を周知し、連携を図る。
 - ・現指導者からの紹介を受ける。
 - ・検討委員会の委員（市スポーツ協会代表、PTA会長、中学校校長）を通じて、市内で活動しているスポーツ団体等の情報を収集するとともに、その代表者との繋がりをつくり、地域人材の発掘を行う。
- 平日・休日の一貫指導に関する取組

平日・休日の一貫指導に関する取組

陸上

・顧問教員が地域クラブ活動の指導者でもあるため、部活動のメニューを混ぜながら練習を実施。メイン指導者と練習方法について情報共有を行っている。

剣道

・練習の様子を動画で撮影し、アプリで保護者へ共有。
・顧問教員が地域クラブ活動のサポートに入り、活動内容を確認することもある。

柔道

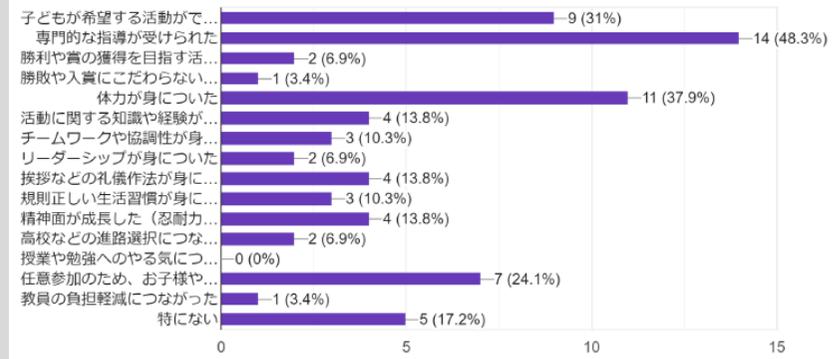
・地域クラブ活動の練習を平日に取り入れる。顧問教員が休日の内容を確認しながら練習の質を高めている。

取組の成果

- ・地域クラブ指導者の指導力が高く、平日と休日の一貫指導もできているため、質の高い練習を継続することができている。参加生徒、保護者のアンケート調査から、地域クラブ活動の良かった点として、「専門的な指導が受けられた」という回答が最も多い。また、生徒アンケートでは、「地域クラブに移行したことに對して心配なこと」について、「なし」の回答が100%であった。
- ・新規人材の発掘は進まなかった。理由としては、地域への周知が不十分であったことが挙げられる。改善策としては、市スポーツ協会、市レクリエーション協会の会議等において具体的に事業説明を行う場を設ける。

お子様を地域クラブに参加させて良かった点を教えてください（複数選択可）

29件の回答



参加保護者アンケート調査結果より

2.実証内容と成果①

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- スポーツ協会、競技団体、企業等との連携に関する取組
- ・スポーツ協会代表を通じて各競技連盟やスポーツ団体に事業を周知し、指導者派遣をはじめ事業の運営面においても連携強化を図る。
- ・市内にある民間スポーツクラブとの連携について検討する。

取組の成果

- ・小学生を対象に活動しているラグビースクールと協力し、小・中学生を対象とした「ラグビー体験イベント」を企画した。イベントの反響を見て次年度以降の新規クラブの候補と考えていたが、参加希望者が既定の人数に満たなかったため、イベントの開催を中止した。
- ・イベントの開催には至らなかったが、既存の団体と地域クラブ化を見据えて打合せができたことは大きな成果であった。来年度からは既存の団体から地域クラブ活動の実施主体を公募し、地域との連携をさらに強化していく。
- ・市内にある民間スポーツクラブや、市民体育館を指定管理している受託事業者との打合せを行い、今後実施したい活動について新たなアイデアを出して共有した。現在進めているような各種目を地域クラブ活動とするだけでなく、種目に関わらず参加できる、健康や体力に関わる内容での地域クラブ活動について、今後具体的に検討を進めたいと考えている。
- ・市内にある高校部活動との連携として、陸上クラブにおいて高校生と合同練習を実施した。来年度以降も継続し、回数や種目を増やしていきたい。（詳細は「オ. 活動の充実」に記載）

イベント企画の成果と課題

- 地域団体との打合せを重ねたことで今後の地域連携に繋がった。
- ▲活動場所の確保。地域クラブ活動の要件を明確化し、優先利用などのルールを作成する。
- ▲広報活動の工夫。

実施内容のアイデア例

- ・姿勢分析アプリによる身体評価。
- ・トレーニング方法と食事を関連させた講座の実施。
- ・体幹や柔軟性を鍛えるトレーニング教室の実施。

今後の課題と対応方針

- ・広報活動に力を入れ、リーフレットを配布するとともに関係団体の会議等で地域クラブ活動の事業説明を行う。
- ・実施主体や指導者の公募を行う。
- ・市内高校との合同練習を行うなど連携を強化する。

2.実証内容と成果①

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

- 世代間交流に関する取組
- ・市内にある高校部活動との合同練習実施。
- 生徒のニーズや意見等を反映させる取組
- ・児童へのアンケート調査実施
 (市内小学校4～6年生を対象に、部活動や地域クラブ活動でどのようなことに取り組みたいか等を調査し、地域クラブ活動の種目について検討する)。

陸上クラブと高校生の合同練習

具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーミングアップ ・なわとび BPM150 ・ダイナマックス ・メイン練習
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生が丁寧に練習をしてくれたのでわかりやすかった。 ● 高校生の動きが参考になった。 ● 高校生と一緒に練習できる機会はめったになく、良い経験になった。 ● 今後も合同練習をやってみたいと感じた。
指導者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生が中学生に丁寧に活動を説明して、練習を行ってくれた。中学生には刺激になり、高校生にとっては、教えることで自身の理解が深まった。 ● 場所が近いこともあり、定期的に練習を行えるとよい。平日の地域クラブ活動も見据えた活動にできるとよい。



2.実証内容と成果①

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

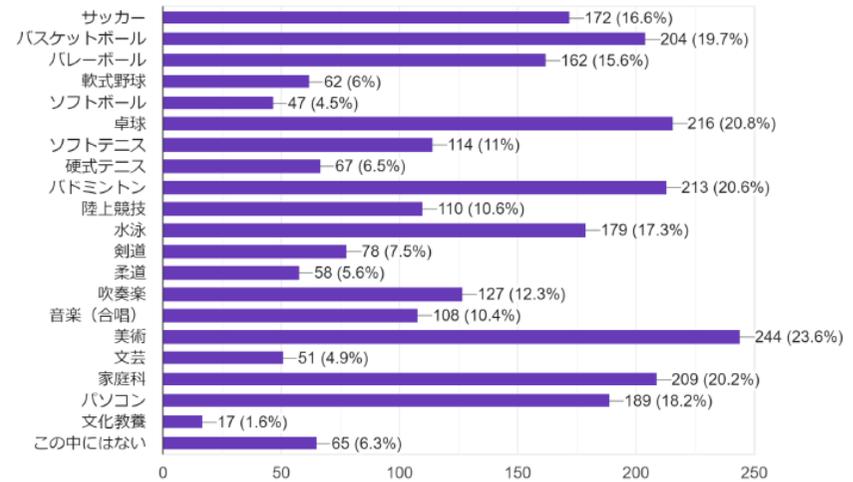
取組の成果

- ・令和6年9月に小学生（4年生～6年生）対象に、「部活動等に対する意識調査」を実施した。
- ・部活動に加入したいと考えている児童は約66%。興味がある種目については、運動部では卓球、バドミントン、バスケットボール、水泳、サッカー、バレーボールの順で多かった。このうち、バドミントン、水泳が3校全てに設置されていない種目であるため、地域クラブとすることを検討し、令和7年度の種目に水泳を追加することとした。
- ・部活動にない種目で興味のあるものとしては、調理、プログラミング、ダンス、体操、英語などが挙がっている。
- ・地域クラブ活動を「やってみたいと思わない」という回答も多いため、新規クラブ創設に向けては十分に検討したい。

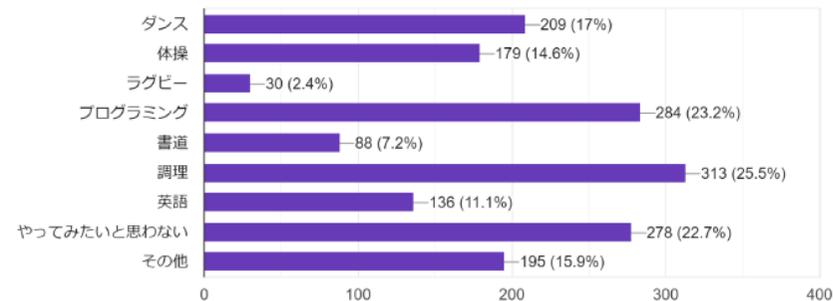
今後の課題と対応方針

- ・地域で既に活動している団体もあるため、今後はそのような団体との連携を図り、地域クラブとすることを検討する。そのためには、市スポーツ協会や市レクリエーション協会に協力を依頼する。
- ・団体競技についても地域クラブ活動の立ち上げを検討する。特に軟式野球、ソフトボールを希望する児童の人数が多種目と比較して少ないため、検討委員会での議題とする。

興味がある（やってみたい）種目や活動を教えてください。
 1,036件の回答



通っている学校に関係なく入ることができる「ク...たら、やってみたい種目（活動）はありますか？
 1,226件の回答



「部活動等に関する意識調査」結果より

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

○費用負担の在り方に関する取組

・地域スポーツクラブ活動の運営や指導者配置等に必要コストを検証するとともに、こうしたコストをどのように賄っていくかについて受益者負担等と公的資金との適切なバランスも含めて収支構造を検討する。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

今年度の実証事業においてはイニシャルコストとして計上する支出はない。今後は運営体制の整備に向けて、新規クラブ立ち上げ時の備品購入費や広報活動費、指導者の確保に関する費用等が想定される。

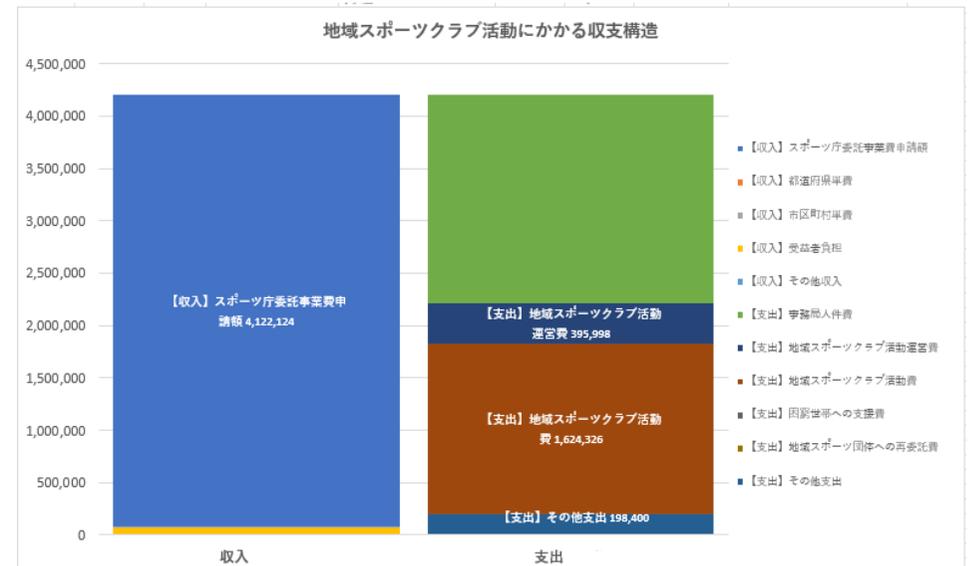
また、業務委託ではなく教育委員会が母体となって地域クラブ活動を運営する場合には、活動拠点となる場所の開設準備費や参加費徴収のための決済システム導入費等が考えられる。

■ランニングコストの分析

ランニングコストとしては、運営に係る人件費、指導者謝金及び交通費、会議費、消耗品費、参加者、指導者の保険料、謝金等支払いに係る事務手数料を計上している。

中でも、運営に係る人件費や指導者謝金が全体の費用の大部分を占めており、地域クラブ拡充に伴い費用が増大するため、活動の質を確保するための最低限の費用について検討したい。

収支バランス



持続的に活動することを前提とした仕組とするためには、受益者負担や行政・関係団体の自主財源、地域企業からの協賛等に取り組む。

2.実証内容と成果①

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

取組事項

- 困窮世帯への支援に関する取組
 - ・就学援助の項目に「地域スポーツクラブ活動費」を追加することやその金額について検討する。
- 費用負担の在り方に関する取組
 - ・適正な保護者負担額及び徴収方法について検討する。



「地域クラブ活動の体制整備に係る保護者アンケート」結果より

1. 令和7年度以降の計画
 (1) ステジュール

	令和7年度		令和8年度以降	
	4月～	9月～	4月～	9月～
保険料	年間を通じて800円		年間を通じて800円	
活動費	徴収しない	3,000円	4,000円	6,000円

(2) 基本的な考え方
 ①保険料及び活動費の徴収は、受託事業者が行う。
 ②保険料は参加者が申込みをする際に徴収する。
 ③活動費は年に2回の徴収とする。基本的には4月(参加申込時)及び9月とする。
 ④年度途中で退会する場合、保険料及び活動費の返金はできない。
 また、活動に参加できなかった場合も同様とする。
 ー活動費の返金は対応できないのでこのまま。

「受益者負担の徴収について(案)」会議記録より

取組の成果

「蕨市における部活動の地域移行・地域連携検討委員会」において、受益者負担については令和5年度より協議しており、参加者から活動費を徴収することで合意している。

令和5年度に埼玉県が実施した「地域クラブ活動の体制整備に係る保護者アンケート」において、地域クラブ活動等へ参加させる場合の参加費に係る質問では、「月額3,000円程度」が最も多く、次いで「月額2,000円程度」であり、あわせて全体の49.6%となっている。

今年度の検討委員会では、令和6・7年度は保険料のみ、令和8年度からは活動費を徴収することを確認し、金額や徴収方法については再度委員会において検討することとした。7年度中に生徒、保護者、地域に周知する予定である。

なお、生活困窮家庭への具体的な支援策についても検討し、金銭的な理由により活動機会に差が出ないようにする。

今後の課題と対応方針

- ・活動費の金額を設定し、徴収の回数や方法について決定する。
- ・令和7年9月以降を目途に受益者負担についての周知を開始する。保護者宛て通知文書を配布するとともに、各学校の保護者会等の機会の説明を行う。市内公共施設等においても蕨市地域クラブ活動のリーフレットを配布し、周知を図る。
- ・生活困窮家庭への支援について、手続き方法やお金の流れを具体的に決定する。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

昨年度からの取組を継続して4月から活動を開始することができたため、参加生徒は希望する活動を継続することができ、部活動顧問の負担を軽減することもできた。また、指導者を変更することなく活動できたことも、参加生徒や保護者の満足度に繋がった。

地域で活動する団体との連携の仕方を検証するため、小学生を対象として活動している団体と協力し、「体験イベント」を企画した。イベントの企画・運営をとおして、新たな地域クラブの種目として検討することや、団体が地域クラブ活動の運営の仕方を確認する機会として捉えていたが、関係者間の連絡調整が遅れたり、会場確保等の準備に向けて連携が図れなかったりしたことにより、イベントの周知が不十分となり参加者が集まらなかった。このことから、地域クラブ活動の理念等を関係者間で共有して取組を進めることや、地域クラブ活動の要件を明確化し、活動場所の利用に向けたルールを整備するなど、地域スポーツクラブ活動体制の整備をさらに進める必要性を感じた。

また、高校生との連携は活動の充実に繋がっており、今後は実施回数や種目数を増やしていきたい。

●成果の評価

- 前年度の活動から切れ目なく、4月から活動を開始することができたことにより、活動の定着や充実に繋がった。
- 活動を継続したことにより、参加生徒の技能向上、体力向上に繋がっている。
- 参加対象者を拡大し、学校部活動とは異なる「地域クラブ活動」として取組を拡充した。
- 地域団体と連携し、地域クラブ活動の充実に努めた。
- 高校部活動との合同練習を実施し、生徒・指導者からの評価が高かった。
- ▲今後の運営団体、実施主体となる団体や、指導者の人材発掘が進まなかった。
- ▲事業の周知が行き届かず、地域クラブ活動への理解が十分に得られていない。
- ▲市長部局、スポーツ主管課との役割分担を明確にする。

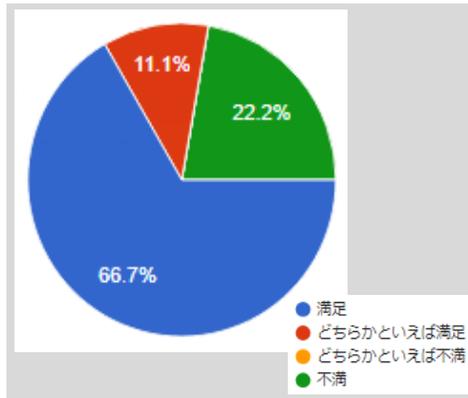
●今後に向けて

- ・学校部活動を母体とするのではなく、市の「地域クラブ活動」として取組を推進するため、引き続き事業の周知を行い、参加人数を増やす。
- ・市スポーツ協会、市レクリエーション協会の会議等で事業説明を行い、実施主体や指導者を募集する。
- ・高校との連携を推進し、地域クラブ活動と高校部活動の合同練習を定期的に行えるようにする。
- ・受益者負担について周知をするとともに、金銭的な理由で活動機会に差が出ないような方策を検討する。

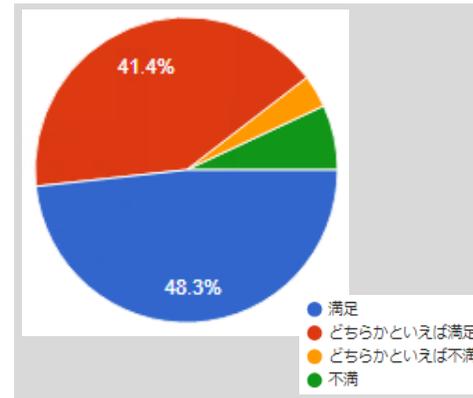
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

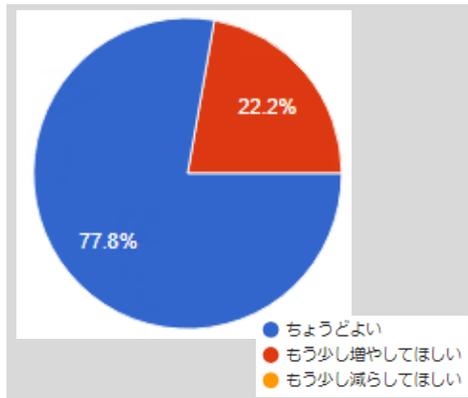
Q.地域クラブ活動の満足度を教えてください（生徒）



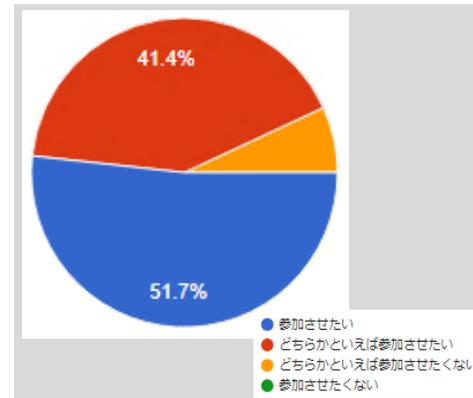
Q.地域クラブ活動の満足度を教えてください（保護者）



Q.現在のクラブ活動（回数や時間）について教えてください（生徒）



Q.次年度も地域クラブに参加させたいですか（保護者）



●参加者の声

中学2年生

いつも親身になってアドバイスをしてくださり、どこをどう直せばいいのかを具体的に教えてもらえてわかりやすいです。ときには面をつけて直接指導をしてくださいます。また、練習の様子を動画で撮影し、保護者に公開してくれています。

中学2年生

より充実した練習をすることができます。クラブの中では私だけが経験者なので、先生方が来てくれることによって安心して練習ができます。地域クラブになってから、私も仲間もより上達していると感じています。

中学2年生

質の高い練習で、正しいフォームで走れるようになりました。大会でいい記録が出せるようになりました。また、高校生との練習を行い、とても刺激になりました。

保護者

- ・子どもが希望する活動ができた。
- ・専門的な指導が受けられた。
- ・任意参加のため、家庭の都合に合わせて活動することができた。

2.実証内容と成果③

アンケート結果・広報資料

年度途中で参加者を市内3校に拡大するため、リーフレットを配布し周知を行ったが、新規で登録をした生徒は2名であった。また、市内で小学生を対象に活動しているラグビースクールと連携を図り体験イベントを企画したが、参加希望者が既定の人数に満たなかったため開催を見送った。これらのことから、広報活動にさらに力を入れる必要があることや、地域の活動団体にも事業を周知して連携を図ることが大切であることがわかった。また、参加生徒、保護者ともに地域クラブ活動に参加して良かった点として、「専門的な指導が受けられた」ことを挙げているが、今後地域クラブ活動を推進し、クラブ数を増やしていくためには、実施主体や指導者を確保する必要がある。

参考資料

令和6年度 青森市地域クラブ
種目：陸上、剣道、柔道
活動日：土日祝日

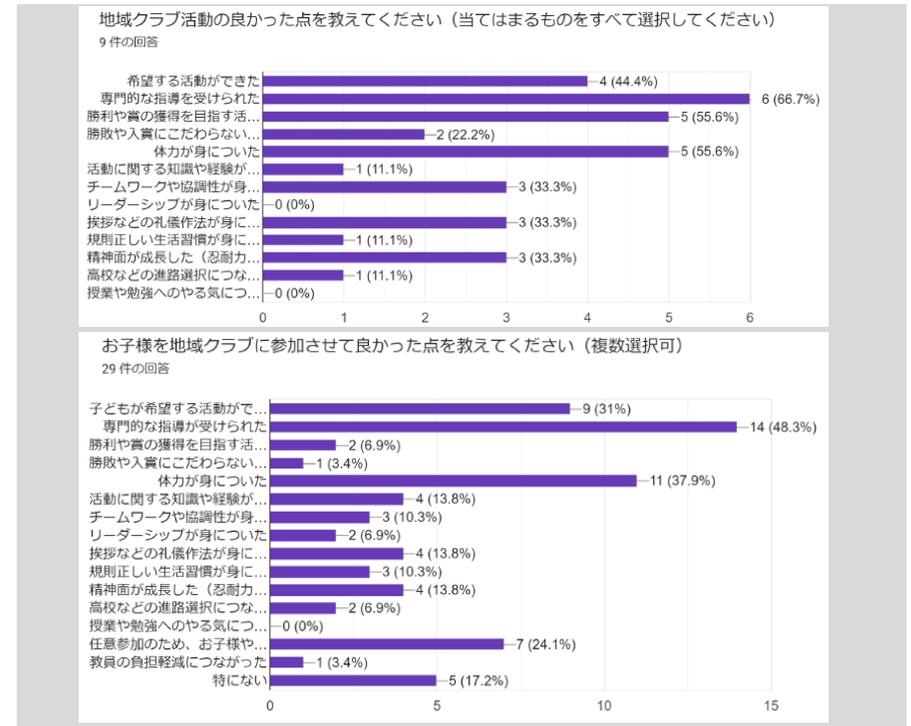
地域クラブ参加申込フォーム
お問合せは こちらから！

【生徒への参加啓発チラシ】

ラグビー やってみませんか?
12/14 (土)
参加費 200円 (税別)

主催 スポーツデータバンク株式会社
後援 青森市教育委員会
協力 青森ラグビースクール

【ラグビー体験イベントのチラシ】



【アンケート結果】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【柔道クラブ】



【剣道クラブ】



【陸上クラブと高校生の合同練習①】



【陸上クラブと高校生の合同練習②】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

検討会議開催
意識調査実施

運営団体の選定、
指導者の選定、
拠点校の選定

令和5年

生徒、保護者
への説明

地域クラブ活動
の開始

令和6年

地域クラブ活動
の拡大
(実施回数の増加、
対象者拡大)

令和7年

地域クラブ活動
の拡大
(種目の追加)

令和4年度

●取組内容

- ・行政担当課と中学校長による「検討会議」開催。
- ・教職員への意識調査実施。
- ・中学1・2年生の生徒及び保護者への意識調査実施。
- ・「蕨市における部活動の地域移行・地域連携検討委員会設置要綱」策定。

●実施にあたって生じた課題

- ・地域クラブ活動の運営団体、実施主体となる候補が不足。

●工夫した点、成果等

- ・意識調査を実施し、現状を把握。
- ・中学校長と定期的な情報交換。

令和5年度

●取組内容

- ・「蕨市における地域移行・地域連携検討委員会」開催（年4回）。
- ・スポーツ庁委託「運動部活動の地域移行に向けた実証事業」に参加。

●実施にあたって生じた課題

- ・指導者の確保、学校との日程調整、生徒・保護者への周知に時間を要した。
- ・活動場所を学校施設としているため、部活動との違いが見えづらく、地域クラブ活動の周知が進まない。

●工夫した点、成果等

- ・市内競技連盟から指導者を推薦していただき、連携を図る。

令和6年度

●取組内容

- ・「蕨市における地域移行・地域連携検討委員会」開催（年4回）。
- ・地域クラブ活動の継続（陸上、剣道、柔道）。
- ・「体験イベント」の企画。
- ・市内高校との連携。

●実施にあたって生じた課題

- ・事業の周知が不十分であり、地域人材等の発掘が進まなかった。

●工夫した点、成果等

- ・前年度から切れ目なく活動を継続。
- ・地域で活動している団体と連携し、イベントを企画することで、課題点の把握に繋がった。

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

実施スケジュール（案）

